

置賜文化ホール自主事業

伊達政宗生誕450年／館山城跡国史跡指定記念

よねざわ市民ミュージカル 伝国座

オリジナルミュージカル

梵天丸

ぼん

てん

まる

かくりたい

(梵天丸……米沢で生まれ育った戦国武将、伊達政宗の幼名)

作・演出・振付 梶賀千鶴子
音楽 上田 亨

2017年
日時 5月20日(土) 17:30~
21日(日) 14:00~
(開場は30分前)

会場 伝国の杜 置賜文化ホール
(山形県米沢市丸の内一丁目2番1号)

チケット 一般 前売り券1,000円／当日券1,200円
学生 前売り券 500円／当日券 600円
全席自由

プレイガイド 伝国の杜・米沢市市民文化会館
大沼米沢店・こまつ書店堀川町店
チケット探(チケットン)※ <http://ticketan.net>
※パソコン・スマートフォンで予約・購入ができます。

主催 (公財) 米沢上杉文化振興財団・米沢市教育委員会
お問合せ (公財) 米沢上杉文化振興財団 0238(26)2666
米沢市教育委員会文化課 0238(22)5111

置賜文化ホール自主事業
伊達政宗生誕450年／館山城跡国史跡指定記念
よねざわ市民ミュージカル 伝国座

作品解説

梵天丸……米沢で生まれ育った戦国武将伊達政宗の幼名

梵天丸

オリジナルミュージカル

作・演出・振付
 音楽
 照明

梶賀千鶴子
 上田 亨
 塚本 悟

舞台美術監修
 舞台美術協力
 衣装

関谷潔司(兵庫県立芸術文化センター)
 つむら工芸
 伝国座おはりこーず
 SCSおはりこーず
 米沢繊維協議会
 SCSミュージカル研究所
 SCSミュージカル研究所
 ドリームキャスト

衣装協力
 レッスン指導
 賛助出演

草薙潤一

制作

草薙潤一

プロデュース

廣瀬 純



伝国の社 置賜文化ホール
 (山形県米沢市丸の内一丁目2番1号)

出羽米沢城主・伊達輝宗を父とし、最上義守の娘で輝宗の正室・義姫を母として、永禄10(1567)年に誕生した梵天丸——それがのちの伊達政宗である。

作品では、梵天丸が生まれ育った米沢から岩出山城(現在の宮城県)へ移るまでの25年間の数々のエピソードをモチーフに、ミュージカルの楽曲やダンスとして表現し、世界を見据えた先取り気性を浮き彫りにしていきます。

エピソードには、“なぜ梵天丸と名付けられたか”“右目の失明”“早い家督相続”“父の死”“父・母との愛と確執”“片倉小十郎との友愛”“師・虎哉宗乙との交流”などが登場。政宗を育んだ盆地・この米沢の気候や風土に彼は何を感じ何を心に描いたのか。それらが、梶賀・上田の名コンビにより、編み込まれ、新作ミュージカルとして政宗生誕の地・米沢にて初演されます。

演じるのは、現代の米沢で生まれ育った「伝国座」を中心としたメンバー。伊達政宗生誕450年を記念して、また伊達家にゆかりの深い館山城跡が国の指定史跡となったことも併せて、政宗が築いた町・仙台から選抜されたミュージカル俳優たちも参画します。

政宗の少年期から青年期までの心の旅が、ダイナミックなダンスと、時には楽しく、時には心にしみる台詞や歌で紡がれていきます。劇団四季の創作ミュージカルをけん引してきた梶賀千鶴子らしい、ポップな感覚が散りばめられた大人から子供まで、ご家族でも楽しんでいただける作品です。



伝国座

(代表 松田 純一)

米沢市と近隣市町在住者で構成され平成21年7月に発足。平成22年5月に「F'a'i'th〜未来をつむぐ実験室〜」を初演。以後、平成23、24年度に再演し、市内中学校芸術鑑賞教室や2度の東京公演を含めて、合計13回の公演を行った。その後も米沢上杉まつりなど各種イベントに出演し、ミニミュージカルを披露している。2作目となる本公演に向けて、日々レッスンに取り組んでいる。



梶賀千鶴子 (作・演出・振付)

仙台市生まれ。演出家、ミュージカル作家、脚本家、振付師。

1971年劇団四季入団。「コーラスライン」「ジーザス・クライスト・スーパースター」「キャッツ」等多くの作品において演出助手・演出補を担当。また『コタと不思議な仲間たち』『人間になれたがった猫』『エルリックコスモスの239時間(エルコスの祈り)』『魔法をすてたマジリン』『冒険者たち(ガンバの大冒険)』等では作家・演出家として多くの創作ミュージカルを世に送り出し、これらは現在も劇団四季の人気作品として上演されている。

退団後は松本幸四郎主演ミュージカル『ZEAMI』、富田勲オペラ『ヘンゼルとグレーテル』などの演出や、地方自治体等からの依頼による創作ミュージカルづくりも手掛ける。

(有)純クリエイション取締役芸術監督、宮城学院女子大学非常勤講師、宮城県教育文化功労者、宮城県文化芸術振興審議委員、SCSミュージカル研究所主宰。



上田 亨 (音楽)

1956年埼玉県生まれ。東京音楽大学作曲科卒業。演劇のための作曲を中心に活動。最近の代表作に、『ROAD』(わらび座)、『ゴンザゴ殺し』(現代演劇協会)、『丘の上のイエッペ』(地人会)、『もやしの唄』(テアトル・エコー)、『阿修羅のごとく』(東宝芸術座)などがある。

また、ミュージカル作品に、梶賀千鶴子演出『みどりのゆび』(日生劇場)、同『きらきら風の旅冒険』(わらび座)、同『夕焼けの向こうに』(ミュージカル平泉)、『常長の祈り』(宮城県)、福田善之演出『壁の中の妖精』(木山事務所)、佐竹修演出『十二夜』(劇団俳優座)、ジェームス三木演出『ドクトル長英』(わらび座)などがある。その他オペレッタや映画作品、テレビ番組にも多くの楽曲を提供。

2009年倉林誠一郎賞受賞。日本作曲家協会会員、東京芸術大学非常勤講師。



廣瀬 純 (プロデュース)

米沢市生まれ。米沢興譲館高等学校、東北学院大学文学部卒業。舞台プロデューサー、シンガーソングライター。

1990年にSCSミュージカル研究所を設立。近年はプロデューサーとして、2011年に平泉ミュージカルドイツ(フランクフルト)公演、2012年に七ヶ浜ミュージカルの東京(日生劇場)公演なども成功させている。

また、2013年には宮城県などが主催する歴長遺歌使節団出帆400年記念ミュージカル『常長の祈り』を制作、支倉常長役にて主演。一方、震災後発行された詩集『ありがとうの詩』(河北新報社刊)では付録CDに作曲と歌で参画している。

SCSミュージカル研究所代表、(有)純クリエイション代表取締役、七ヶ浜国際舞台芸術育成事業、米沢市民ミュージカル伝国座、仙台市民ミュージカル各プロデューサー。東北学院大学非常勤講師、東北大学非常勤講師。

歌津町教育文化功労者(1999)、米沢市芸術文化協会特別員(2015)

